

2027年3月期 第1四半期

決算説明資料

2026年8月3日



ユナイテッド株式会社
(東証グロース：2497)

中核事業：連結全体の収益の柱となり、成長を牽引する事業。
育成中事業：今後の成長を企図し、次なる中核事業化を目指す事業。



アジェンダ

1 2027年3月期 第1四半期 決算概要 p.4

2 2027年3月期 第1四半期 事業概況 p.10

3 Appendix p.26

本資料に記載されたすべての意見や予測、見通しなどは資料作成時点における入手可能な情報に基づいた弊社の判断であり、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

連結全体で黒字転換

- 売上高2,049百万円(YoY+4.6%)、営業利益66百万円(YoY+560百万円)で着地。

各事業トピックス

・ 投資事業

- ✓ 期初計画通りに保有有価証券を売却。売上高668百万円(YoY+699%)、営業利益469百万円(YoY+492百万円)の増収・黒字転換。

・ (株)ベストコ

- ✓ 生徒数が拡大し、売上高507百万円(YoY+11%)で着地。
- ✓ 売上高成長に向け14教室を新規出店(年間計画20~25教室)し、先行投資により営業損失は△204百万円(YoY△84百万円)。通期では業績予想通りの着地を見込む。

・ ユナイテッドマーケティングテクノロジーズ(株)

- ✓ 広告在庫の拡大、および広告システムの改善により広告取扱高が拡大し、売上高333百万円(YoY+2%)、営業利益70百万円(YoY+0%)で着地。

・ 育成中事業

- ✓ 事業ポートフォリオ組み換え影響※により、売上高548百万円(YoY△50%)となったが、同影響除くとYoY+14%で着地。
- ✓ 同影響、および各事業の利益改善・損失縮小により、営業損失△11百万円(YoY+157百万円)で着地。

売上高は、事業ポートフォリオ組み換えの影響があったが、投資事業の保有有価証券の売却、および(株)ベストコの生徒数拡大により増収。
営業利益は、主に投資事業の利益創出により黒字転換。

(単位：百万円)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	YoY
売上高	1,959	2,049	+4.6%
営業利益	△493	66	+560百万円
経常利益	△509	57	+567百万円
純利益※	△394	216	+610百万円

※ フォッグ(株)の株式売却にともなう特別利益を計上

業績予想に対して計画通りに進捗。
投資事業における保有有価証券の売却により、営業利益の進捗が先行。
通期では、業績予想通りの着地を見込む。

	2027年3月期 業績予想	2027年3月期 第1四半期
売上高	7,800~8,200 百万円	2,049 百万円
営業利益	0~200 百万円	66 百万円
経常利益※1	0~100 百万円	57 百万円
純利益※2	0~50 百万円	216 百万円

※1 営業外費用(持分法投資損失)が減少
※2 フォッグ株の株式売却にともなう特別利益を計上

(単位：百万円)		2027年3月期 業績予想	2027年3月期 第1四半期	進捗率	2026年3月期 第1四半期	YoY	
中核事業	投資事業 詳細p.10	売上高	1,100	668	61%	83	+699%
		営業利益	700	469	67%	△23	+492百万円
	(株)ベストコ 詳細p.15	売上高	3,170	507	16%	458	+11%
		営業利益	0	△204	-	△120	△84百万円
	ユナイテッド マーケティングテクノロジーズ(株) 詳細p.21	売上高	1,430	333	23%	325	+2%
		営業利益	360	70	20%	70	+0%
	育成中事業	売上高	2,500	548	22%	1,094	△50%
		営業利益	160	△11	-	△168	+157百万円

配当方針「DOE5%または連結配当性向50%のいずれか大きい金額」にもとづき、年間で22円を予想。

1株当たり配当金

	2027年3月期	2026年3月期	前期比
合計	22円	23円	△1円
DOE	5%	5%	-
配当性向	1,647%	-	-

アジェンダ

1 2027年3月期 第1四半期 決算概要 p.4

2 **2027年3月期 第1四半期 事業概況** **p.10**

3 Appendix p.26

本資料に記載されたすべての意見や予測、見通しなどは資料作成時点における入手可能な情報に基づいた弊社の判断であり、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

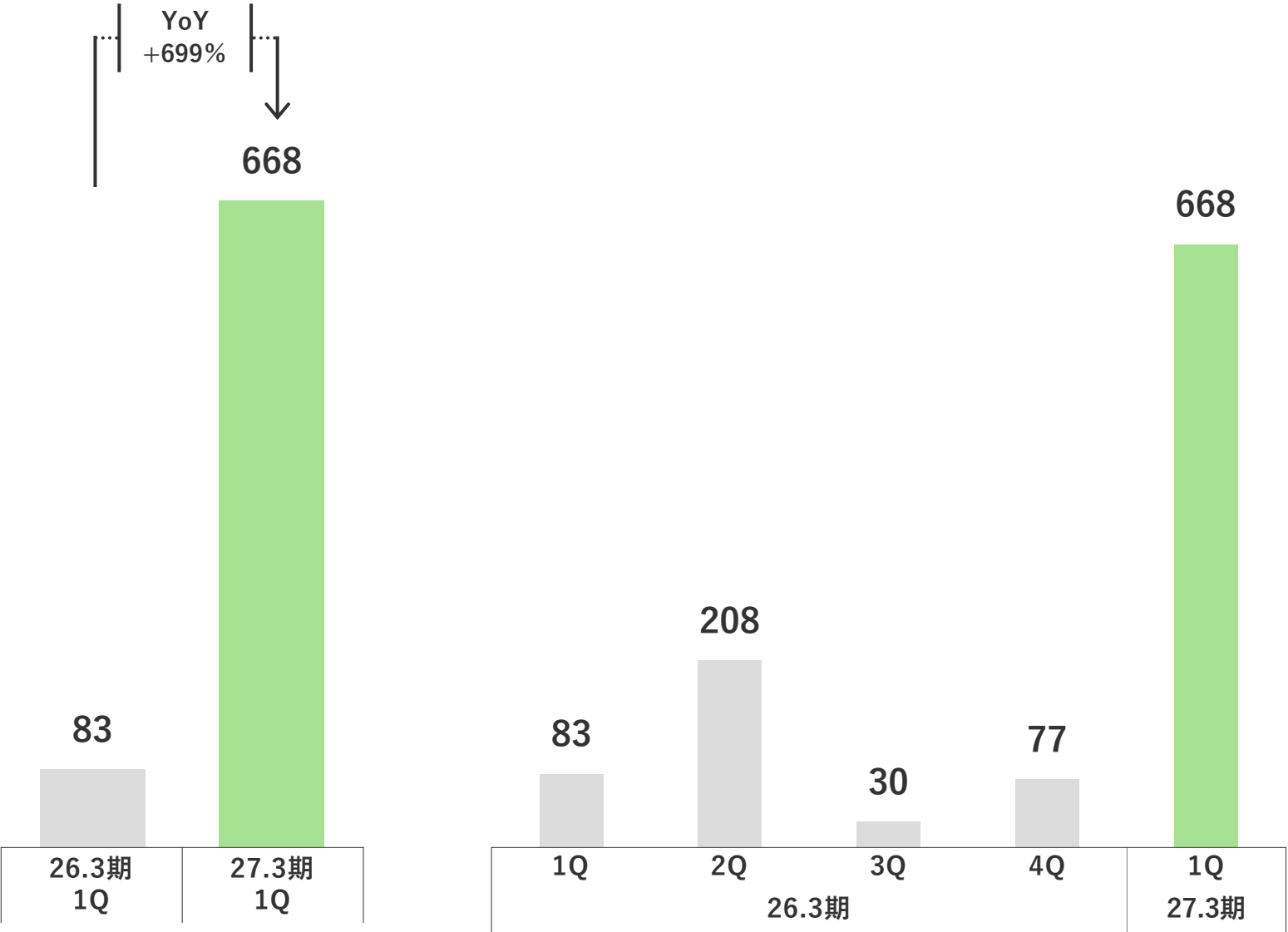
投資事業

期初計画通りに保有有価証券を売却し、業績予想通りに進捗。
事業特性上、保有有価証券の売却時期・規模によりボラティリティが大きくなるが、通期では業績予想通りの着地を見込む。

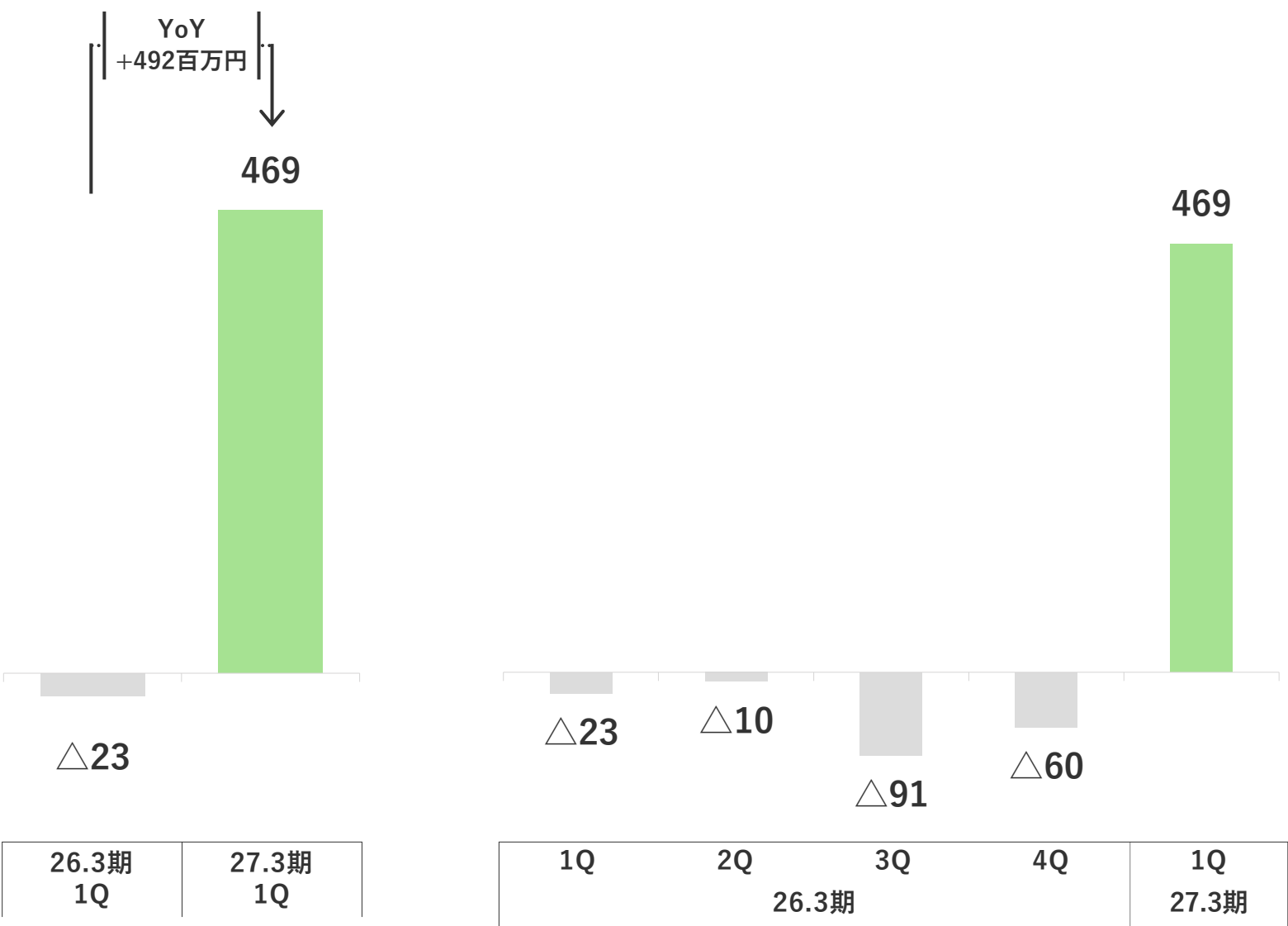
(単位：百万円)	2027年3月期 業績予想	2027年3月期 第1四半期	進捗率	2026年3月期 第1四半期	YoY
売上高	1,100	668	61%	83	+699%
営業利益	700	469	67%	△23	+492百万円

今期は保有有価証券の売却による利益創出に取り組んでおり、第1四半期は計画通りに売却を実行したことで、YoYで増収・黒字転換。第2四半期以降も、M&AなどIPOに限らない多様なイグジットにより、継続的な利益創出を目指す。

売上高推移（単位：百万円）



営業利益推移（単位：百万円）



保有有価証券の売却に加え、今後のイグジットに向けた活動を実施。
新規投資実行については、AI銘柄投資に向けたソーシングを実施中。

保有有価証券の売却による利益創出

- 第1四半期は上場株式の売却を実行。
- M&AなどIPOに限らないイグジットに向けて活動中。

AI銘柄投資と善進投資への注力

AI銘柄

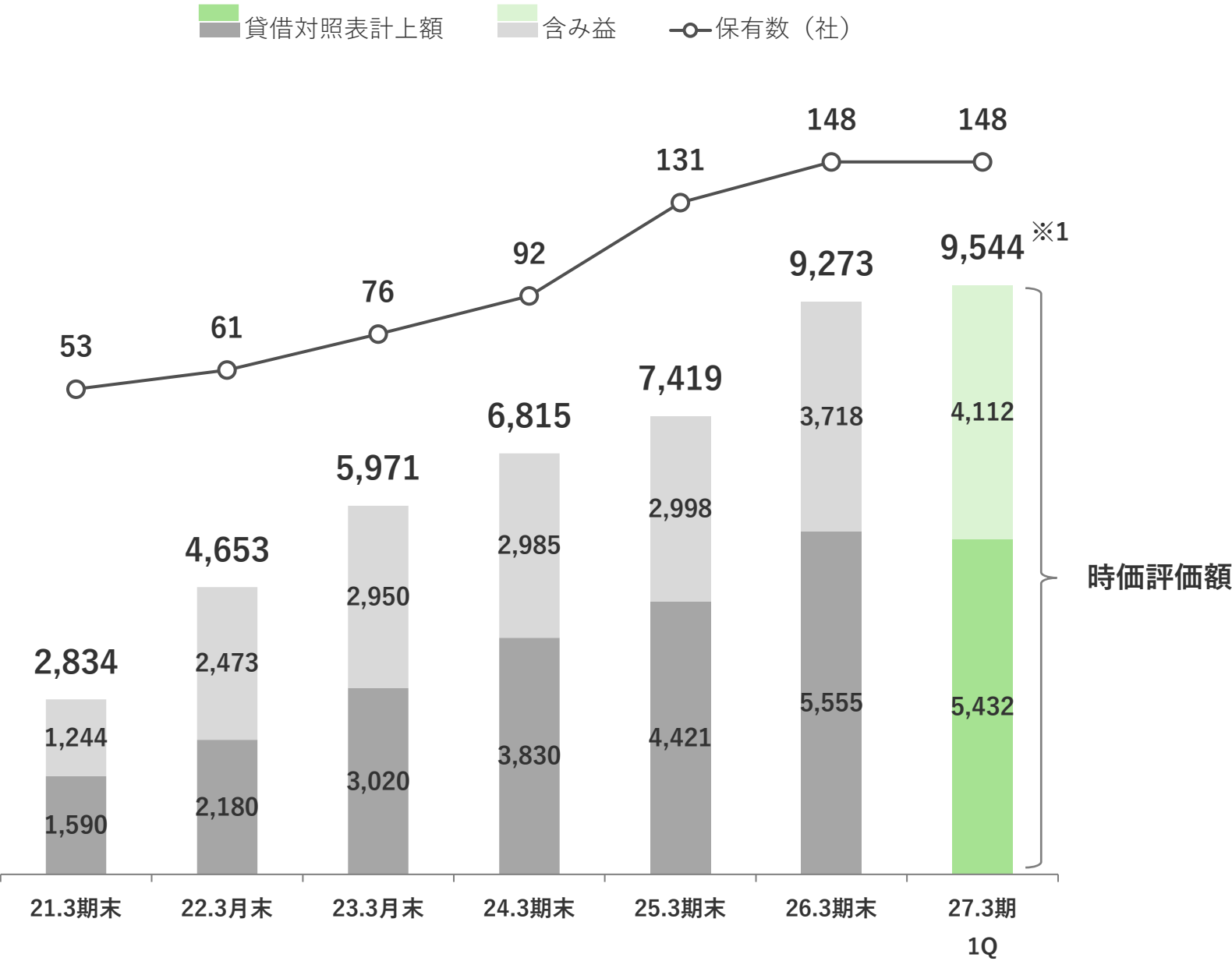
- ・ AIによって既存の価値・業務・産業構造を
ディスラプトする企業を対象にソーシング・投資実行。

善進投資

- ・ ファイナンス支援等を実施し、
複数社がアップラウンドで調達完了。

2026年6月末時点で未上場株式を148社保有しており、時価評価額は95億円※1。

保有する未上場株式の時価評価（単位：百万円）※2



営業投資有価証券残高内訳

	投資先	2026年6月末 貸借対照表計上額
上場株式	・メルカリ ・ワンダープラネット ・サイバー・バズ ・ソーシャルワイヤー ・エキサイトホールディングス ・コンフィデンス・インターワークス	約9億円
未上場株式	148社	約54億円
LP出資先	49本	約19億円

※1 未上場株式は、原則、取得原価等で計上するため時価評価額と貸借対照表計上額で差額が発生。差額約41億円(含み益)は連結純資産(2026年6月末：170億円)には未反映。

※2 発行体からの直近の報告をもとに算出。

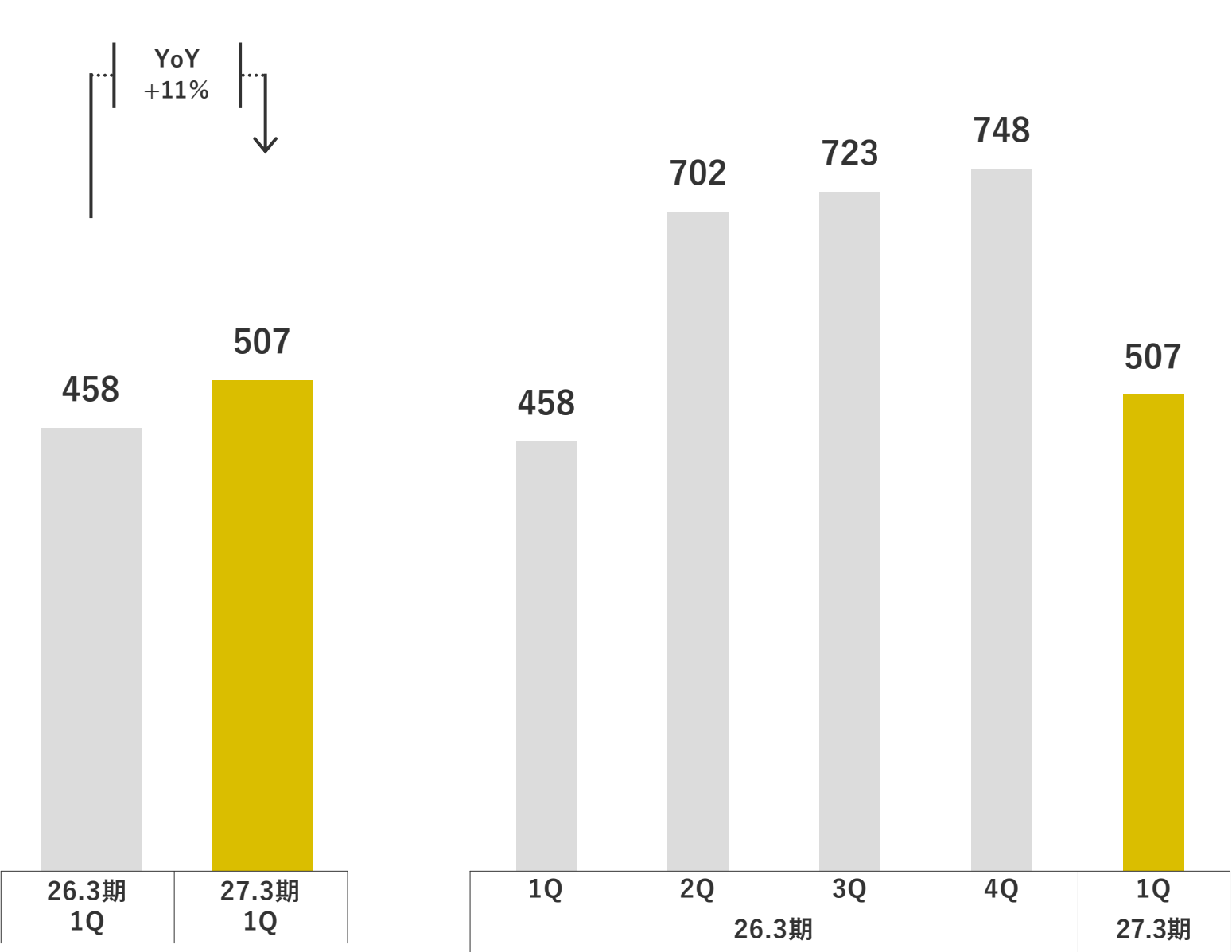
(株)ベストコ

季節性によるトレンド(p.18参照)があり、第1四半期が売上高のボトムとなるが、第2四半期以降、季節講習会などにより拡大し、通期では業績予想通りの着地を見込む。

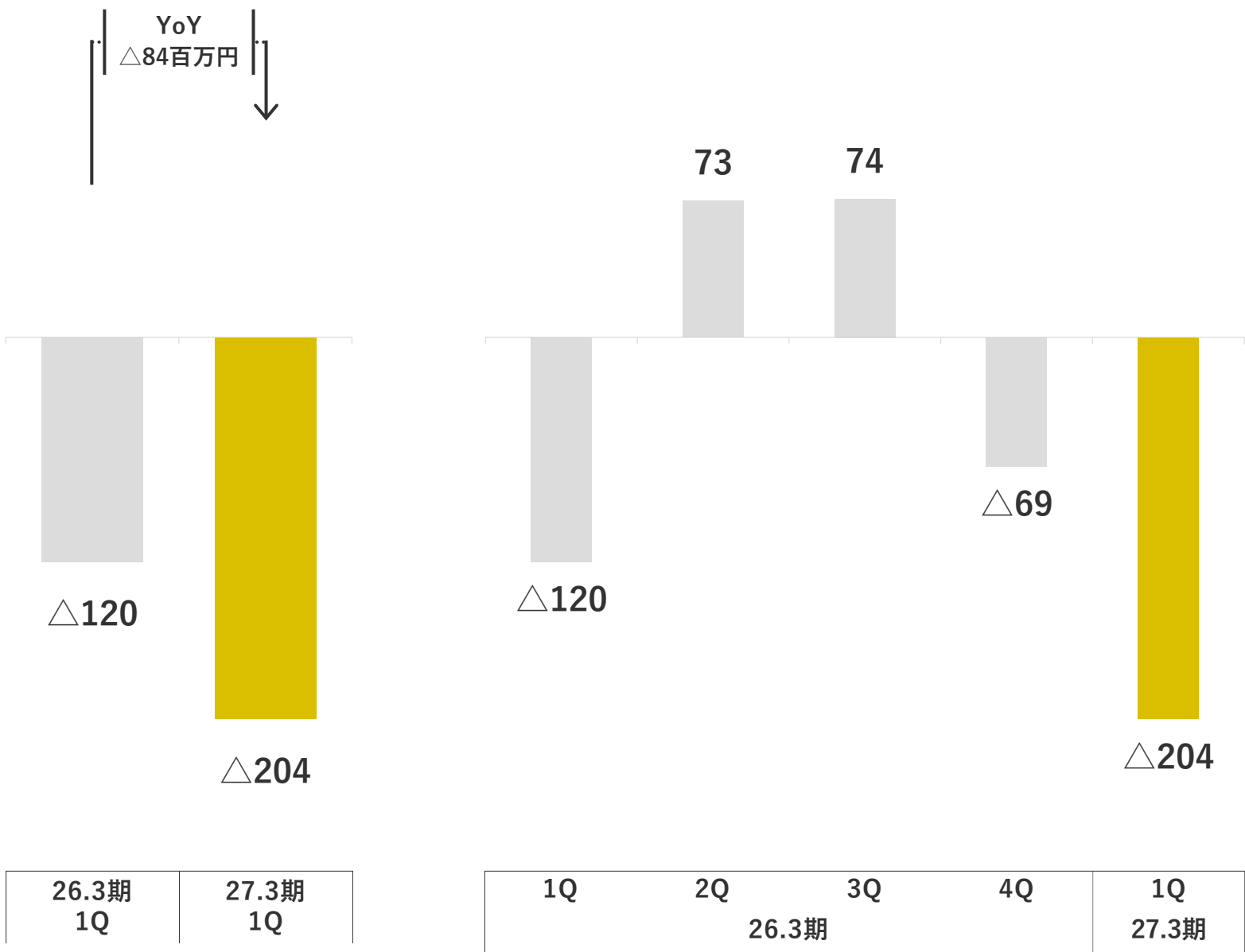
(単位：百万円)	2027年3月期 業績予想	2027年3月期 第1四半期	進捗率	2026年3月期 第1四半期	YoY
売上高	3,170	507	16%	458	+11%
営業利益	0	△204	-	△120	△84百万円

売上高は、前期に年間で14教室を新規出店したことで生徒数が拡大し、YoYで増収。
売上高成長に向け、新規教室出店を加速。年間20～25教室の出店計画に対し、14教室を出店。
出店に伴う先行投資により営業損失△204百万円(YoY△84百万円)となったが、通期では業績予想通りの着地を見込む。

売上高推移 (単位：百万円)

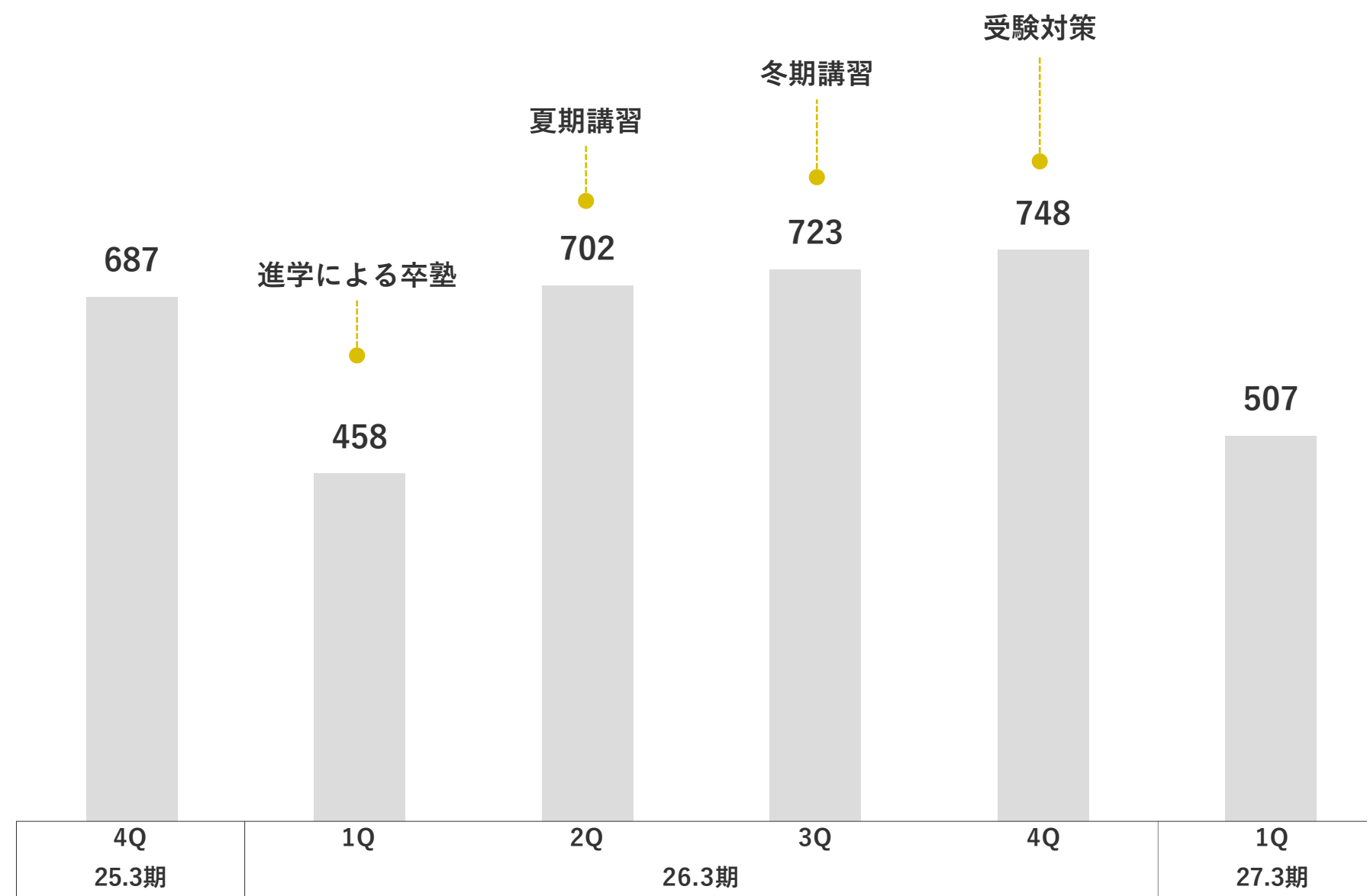


営業利益推移 (単位：百万円)



進学のと期に合わせて卒塾が一定発生するため、毎期第1四半期が売上高のボトムとなり、第2四半期以降、季節講習や受験対策などにあわせて業績が伸長。

(株)ベストコ売上高推移（単位：百万円）

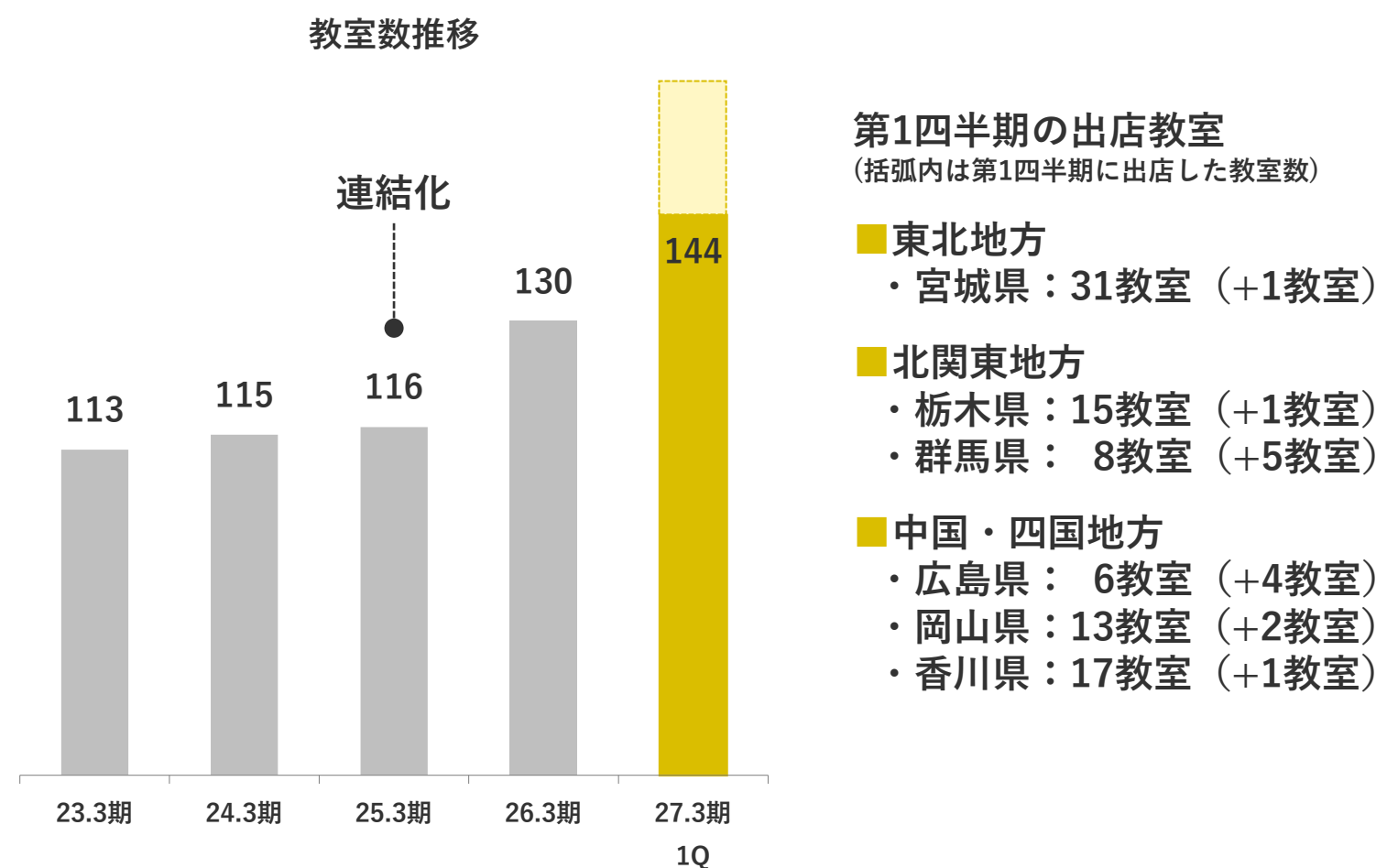


教室数拡大：通期で20~25教室の出店を計画。第1四半期で14教室出店(北関東、中国・四国地方)。

生徒数拡大：高校生領域の強化、新規教室出店での生徒数拡大を図る。

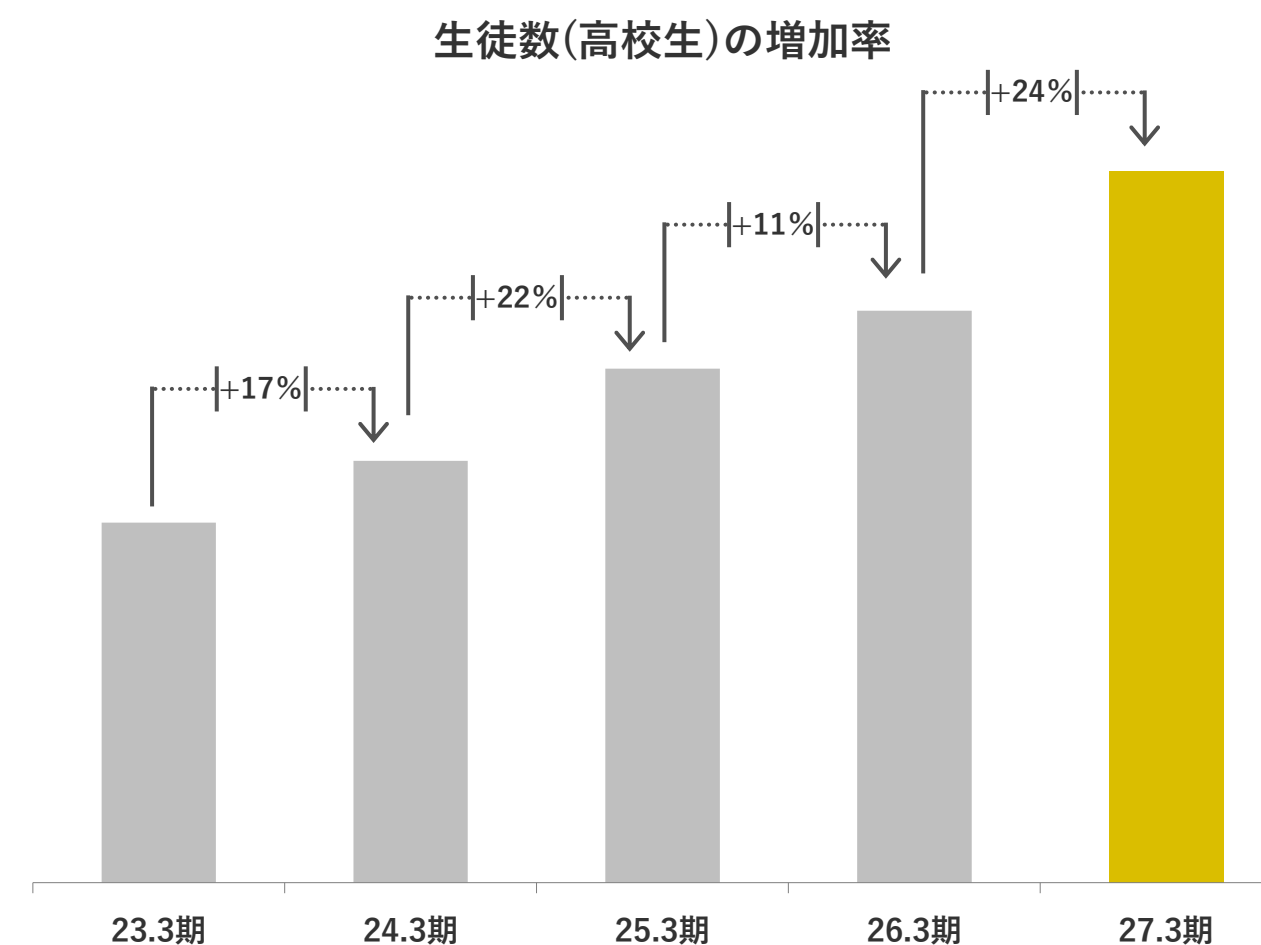
新規教室出店の加速

ユナイテッド連結後、新規教室出店を加速。



生徒数拡大のための高校生領域強化

高校進学時のコミュニケーション強化により、継続率・在籍数が増加。



継続的にテレビCMによる生徒獲得のためのプロモーションを実施。新たに広島県でも放映を開始。

新テレビCM概要

放映期間

2026年6月14日～7月7日

放映エリア

宮城県・福島県・山形県・岡山県・香川県・広島県

リンク

できるって楽しい！（夏放映版）
<https://best-kobetsu.co.jp/tvcm/>



ユナイテッドマーケティングテクノロジーズ(株)

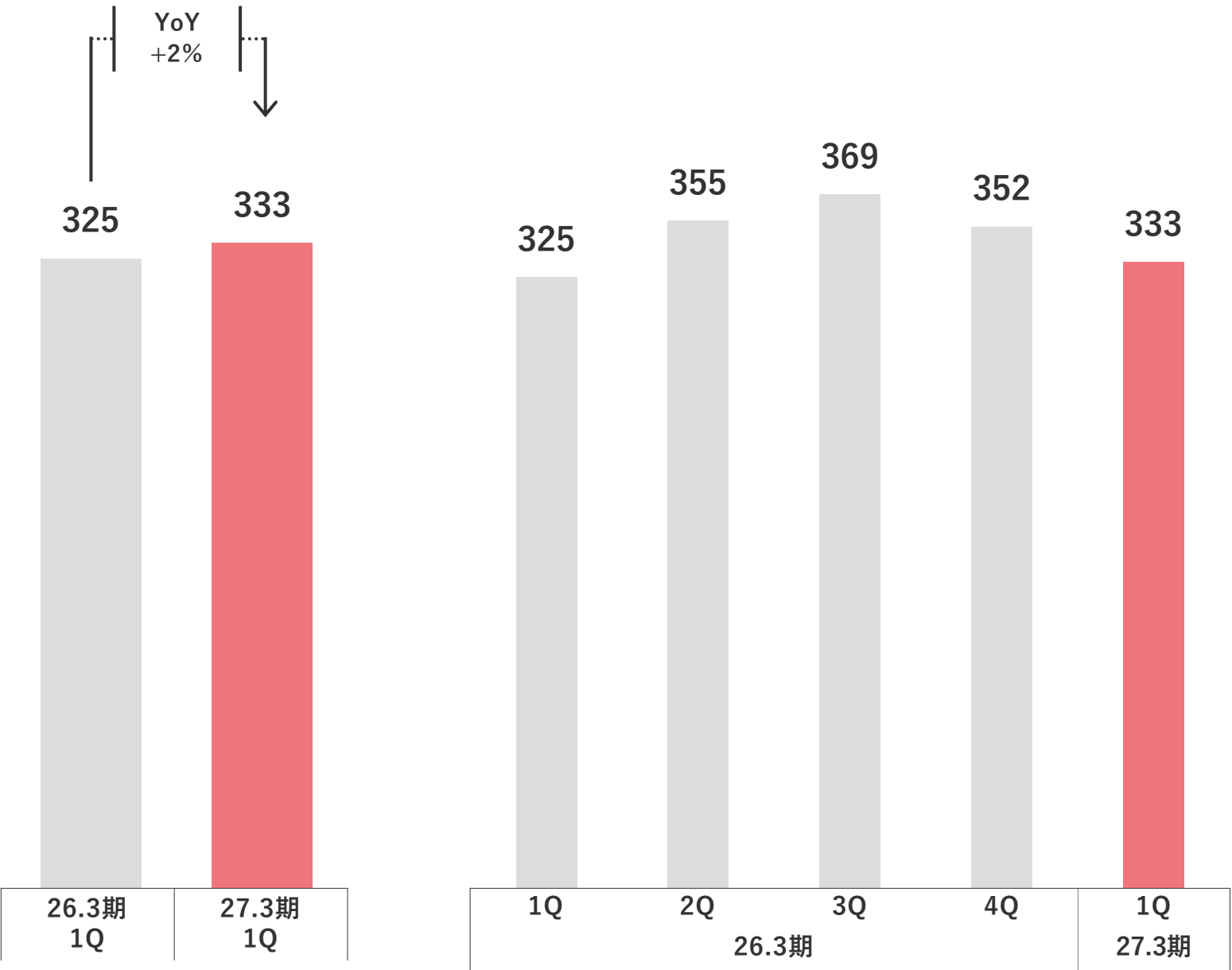
第1四半期は計画通りに進捗。
第2四半期以降も広告在庫の拡大と広告システムの改善を進め、通期では業績予想通りの着地を見込む。

(単位：百万円)	2027年3月期 業績予想	2027年3月期 第1四半期	進捗率	2026年3月期 第1四半期	YoY
売上高	1,430	333	23%	325	+2%
営業利益	360	70	20%	70	+0%

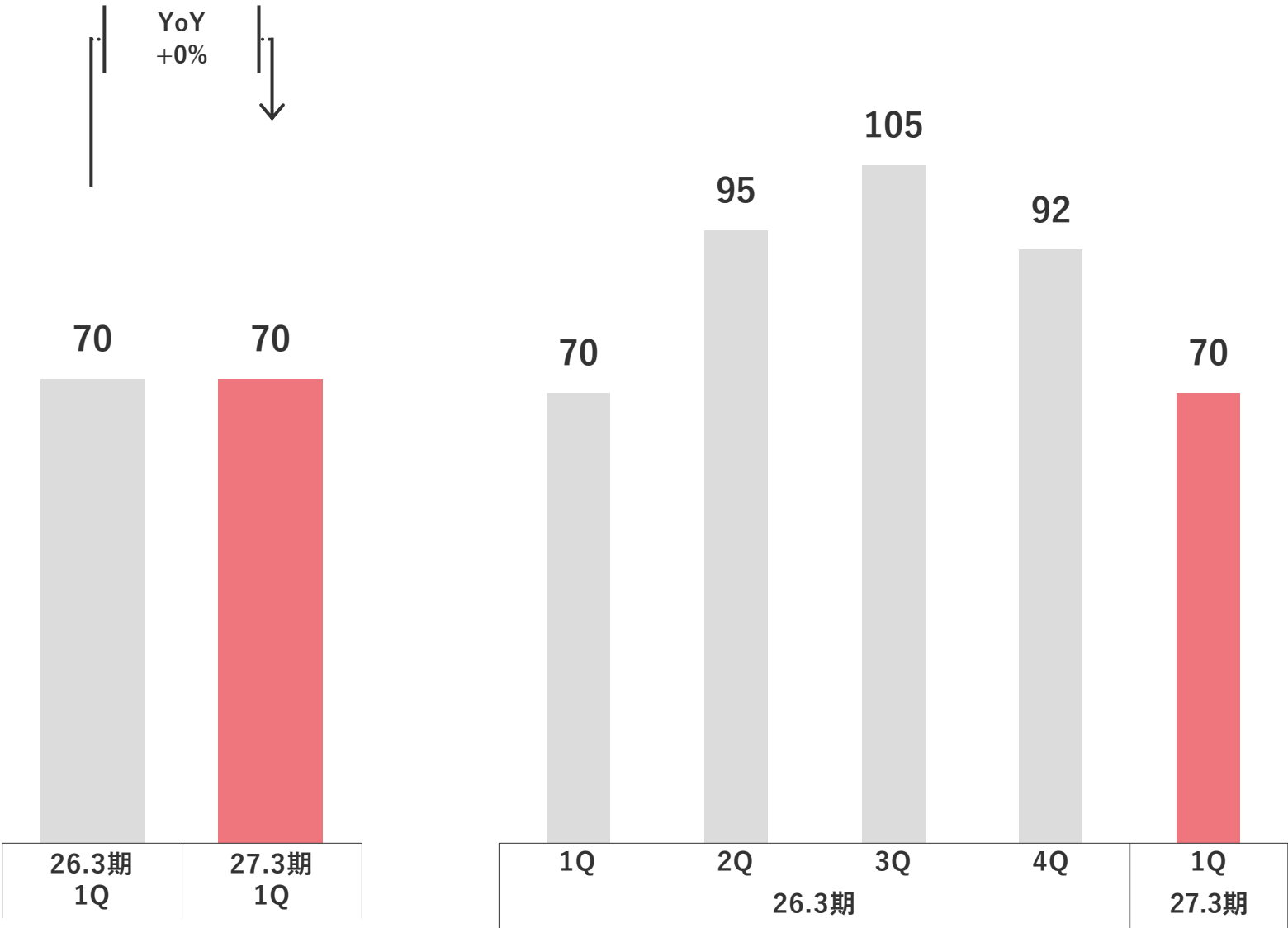
ユニテッドマーケティングテクノロジーズ(株) | 売上高・営業利益推移

広告在庫の拡大、および広告システムの改善、(株)Hakuhodo DY ONEとの連携により、安定的に利益を創出。
過年度の業績トレンドから、第2四半期以降に売上高・営業利益が伸長する見通しであり、通期では業績予想通りの着地を見込む。

売上高推移 (単位：百万円)



営業利益推移 (単位：百万円)



新たな広告媒体への対応が進み取扱高が拡大。AI活用を進めることで、広告システムの開発速度が向上。

取り組みの進捗

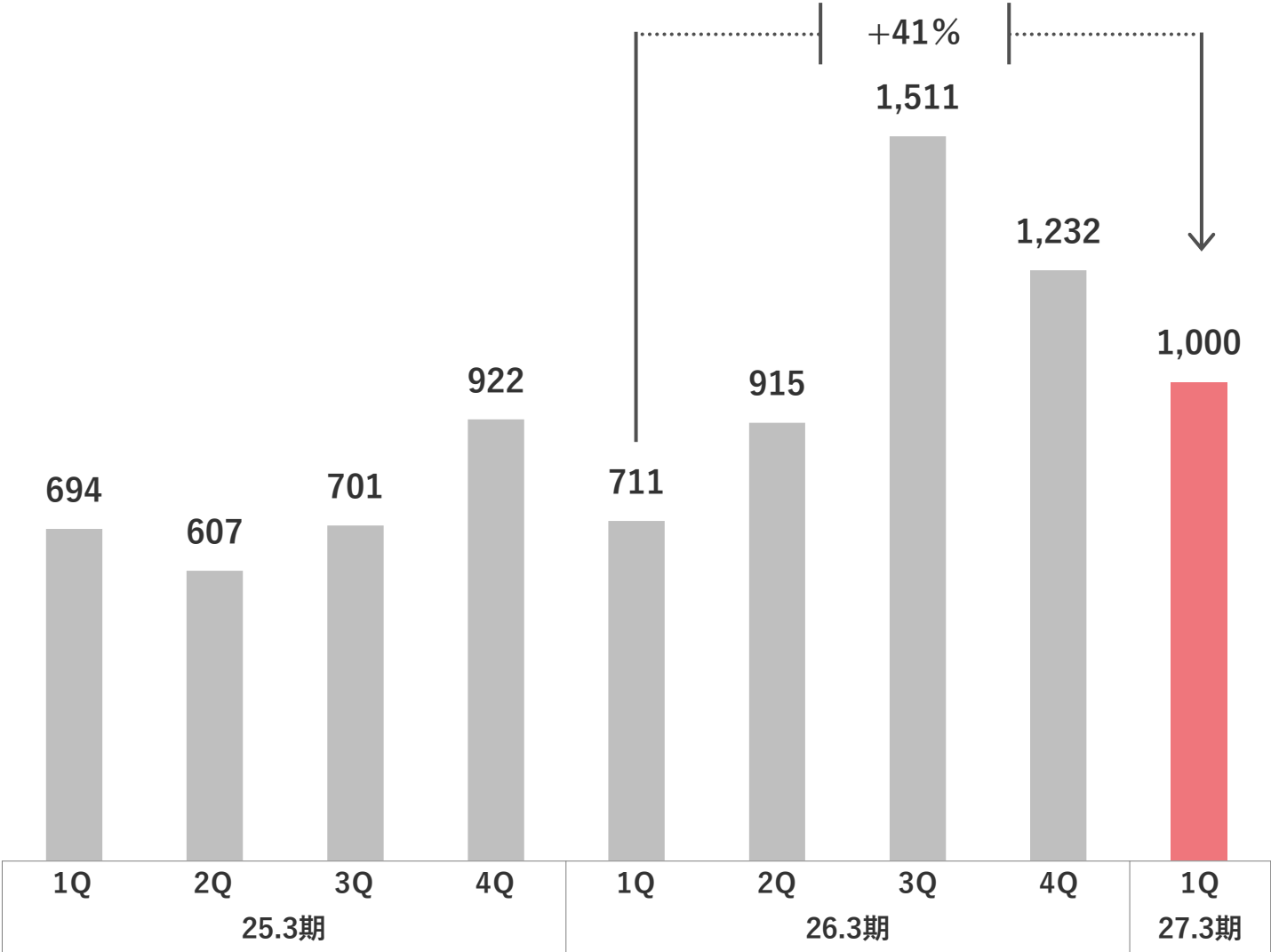
新たな
広告媒体への対応

■ 取扱高におけるコネクテッドTV/デジタル屋外広告への
配信割合が前期第1四半期の5%から約25%に拡大。

AI活用による
生産性の向上

- 開発速度が向上。
- 広告運用の自動化による、
運用品質の均一化にも継続して取り組む。

広告取扱高※推移 (単位：百万円)



※ 旧収益認識基準のグロス売上高

アジェンダ

1 2027年3月期 第1四半期 決算概要 p.4

2 2027年3月期 第1四半期 事業概況 p.10

3 **Appendix** **p.26**

本資料に記載されたすべての意見や予測、見通しなどは資料作成時点における入手可能な情報に基づいた弊社の判断であり、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

(単位：百万円)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	YoY
売上高	1,959	2,049	+4.6%
売上総利益	601	964	+60.4%
販売費及び一般管理費※	1,094	897	△ 18.0%
営業利益又は営業損失(△)	△ 493	66	-
営業外収益	14	11	△18.5%
営業外費用	30	20	△32.0%
経常利益又は経常損失(△)	△ 509	57	-
特別利益	-	123	-
特別損失	3	-	-
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 512	181	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 394	216	-

※ 事業ポートフォリオの組み換えにより人件費が減少

(単位：百万円)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	YoY	
			金額	率
売上高	1,959	2,049	+89	+5%
投資事業	83	668	+584	+699%
ベストコ(株)	458	507	+49	+11%
ユナイテッドマーケティングテクノロジーズ(株)	325	333	+8	+2%
育成中事業	1,094	548	△ 546	△ 50%
売上総利益※1	601	964	+363	+60%
投資事業	16	505	+488	+2,980%
ベストコ(株)	168	149	△ 19	△ 11%
ユナイテッドマーケティングテクノロジーズ(株)	158	156	△ 1	△ 1%
育成中事業	259	161	△ 98	△ 38%
販売費及び一般管理費	1,094	897	△ 197	△ 18%
営業利益又は営業損失(△)	△ 493	66	+560	-
投資事業	△ 23	469	+492	-
ベストコ(株)	△ 120	△ 204	△ 84	-
ユナイテッドマーケティングテクノロジーズ(株)	70	70	+0	+0%
育成中事業	△ 169	△ 11	+157	-
経常利益又は経常損失(△)	△ 509	57	+567	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 394	216	+610	-

※1 各事業の主な売上原価は広告費、外注費、人件費

(単位：百万円)	前期末 (2026年3月末)	当四半期末 (2026年6月末)	前期末差額
流動資産	17,139	15,520	△ 1,618
現預金	5,963	5,574	△ 389
営業投資有価証券	9,066	8,286	△ 780※1
固定資産	2,909	3,034	+124
のれん	388	362	△ 25
資産合計	20,048	18,554	△ 1,494
流動負債	1,885	1,286	△ 599※2
固定負債	398	218	△ 180
繰延税金負債	329	153	△ 176
負債合計	2,284	1,504	△ 779
純資産	17,764	17,049	△ 714
その他有価証券評価差額金	528	75	△ 453※1

※1 保有有価証券の売却により、営業投資有価証券、およびその他有価証券評価差額金が減少

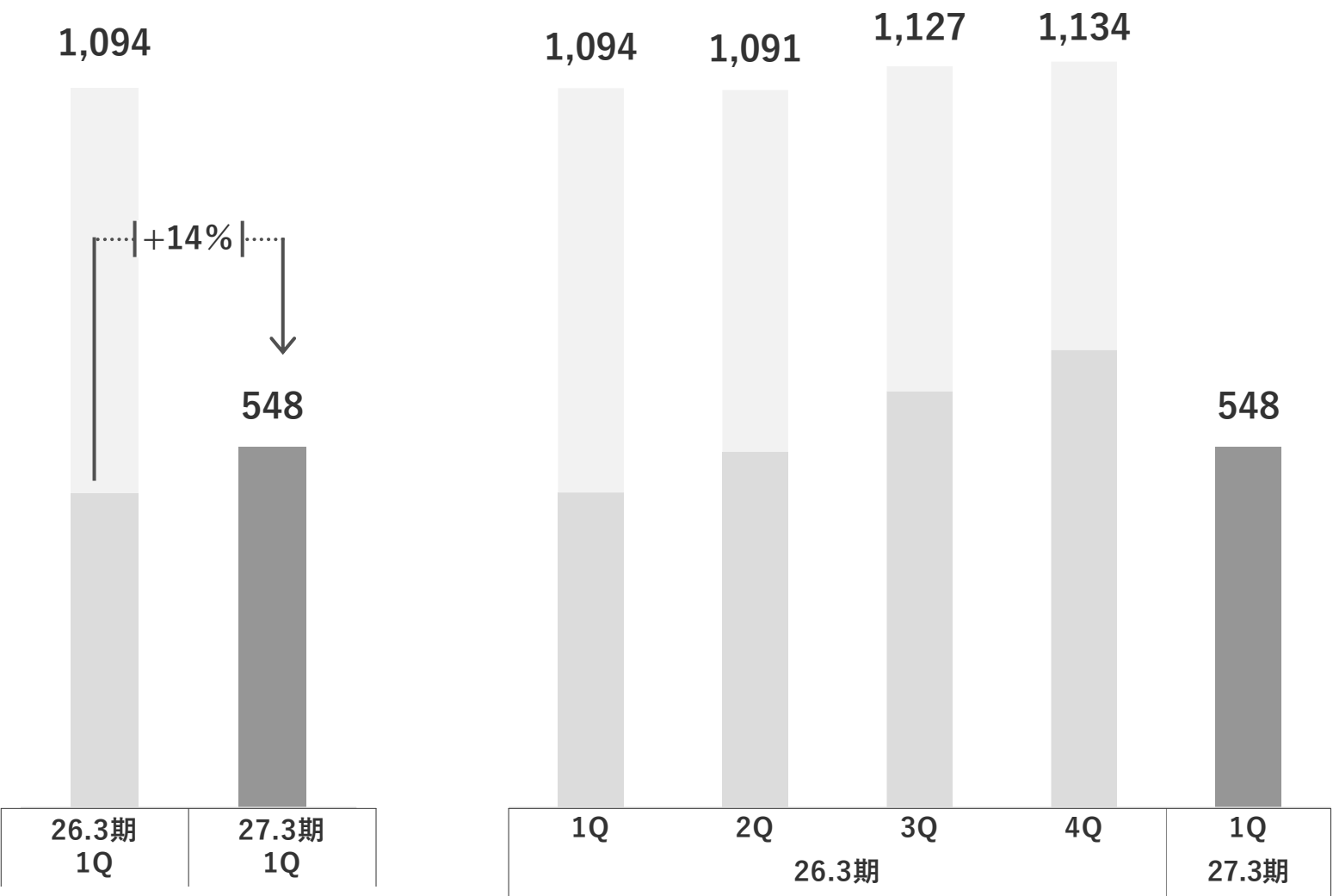
※2 主に買掛金が減少

育成中事業 | 売上高・営業利益推移

事業ポートフォリオ組み換え影響※を除くと、各事業ともに成長しYoY+14%の増収。
同影響、および各事業ともに利益改善・営業損失縮小となったことで、YoY+157百万円の営業損失縮小。

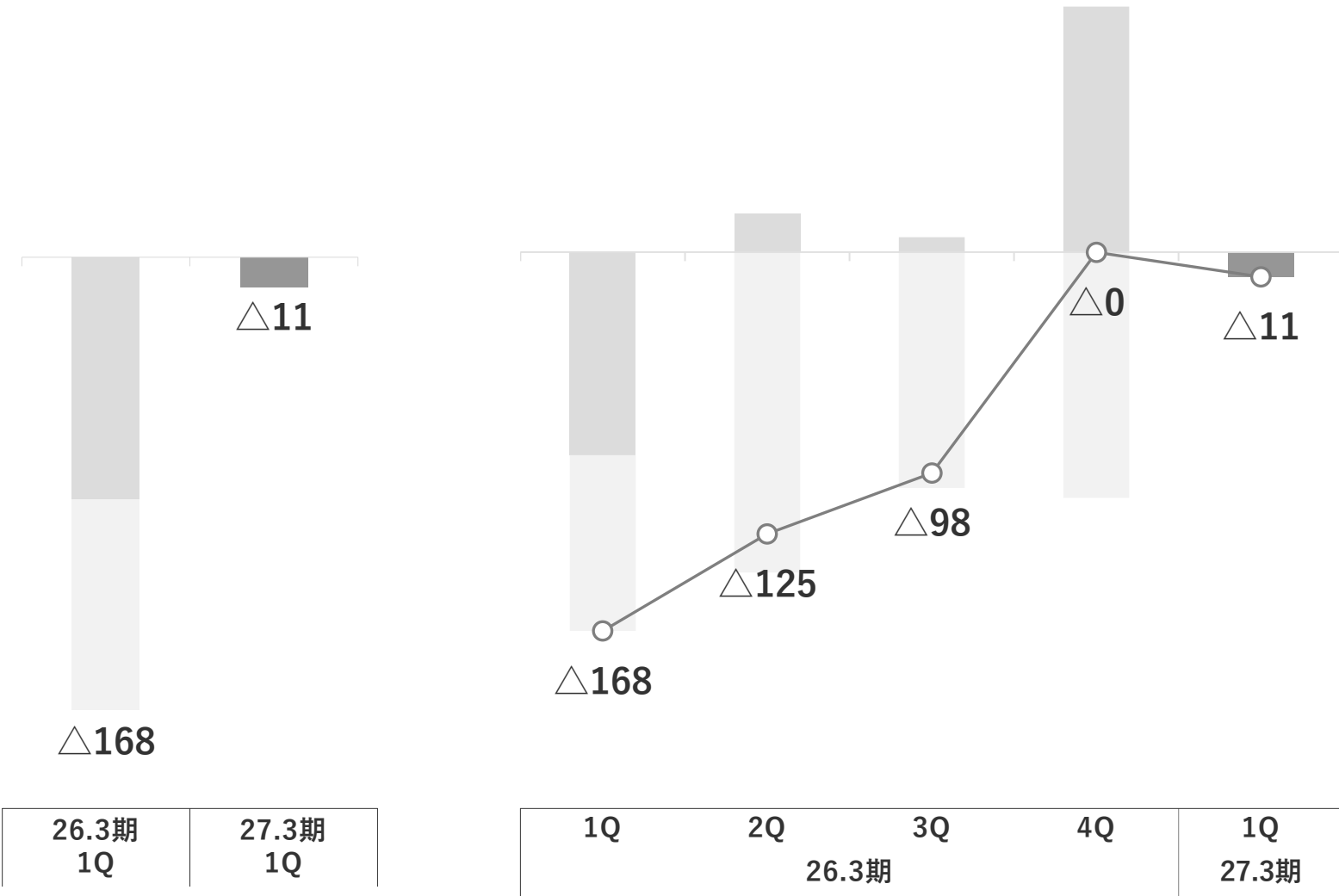
売上高推移（単位：百万円）

■ 育成中事業
■ (株)ブリューアス(IT教育事業)/フォッグ(株)



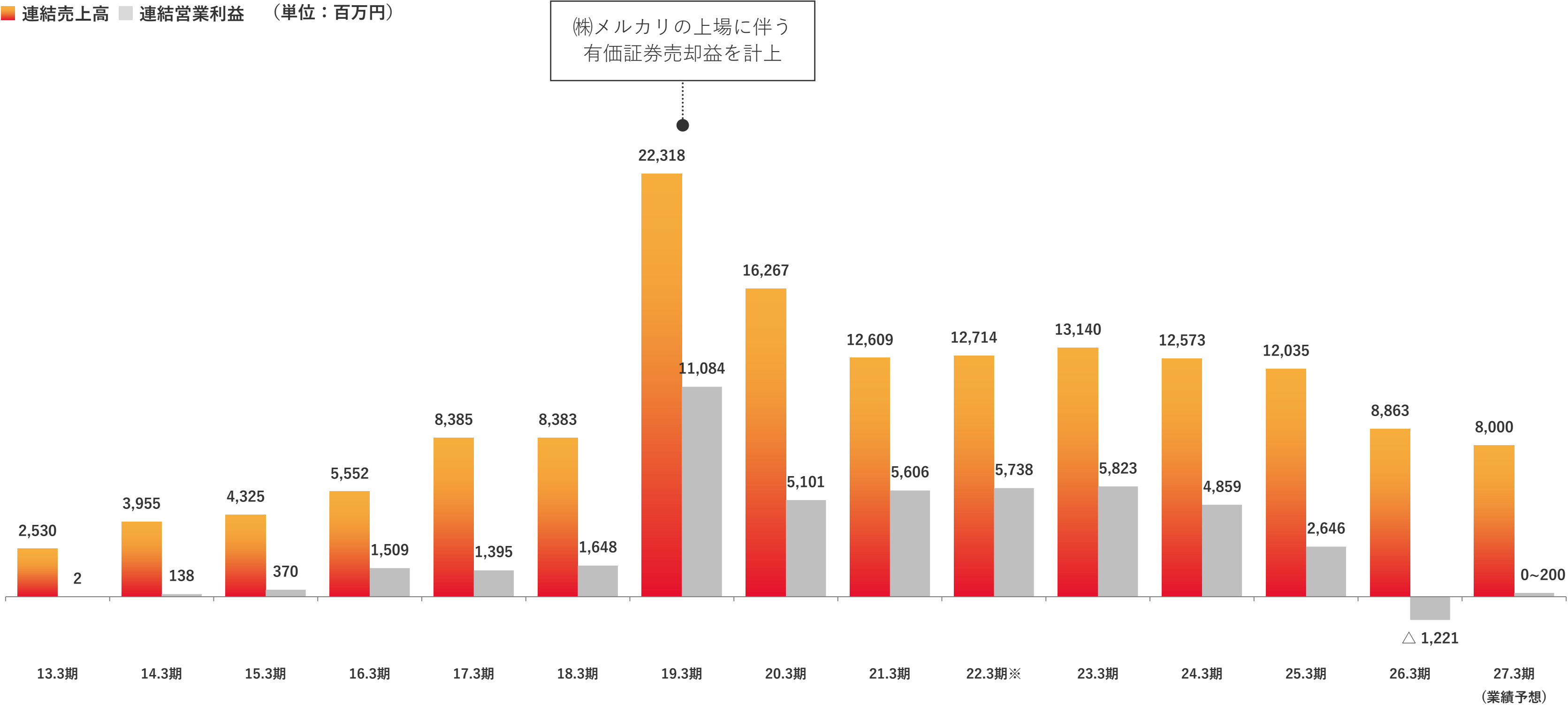
営業利益推移（単位：百万円）

○ 営業利益合計
■ 育成中事業
■ (株)ブリューアス(IT教育事業)/フォッグ(株)



※ 前期に(株)ブリューアスのIT教育事業を事業譲渡、および今期からフォッグ(株)が持分法適用会社へ異動。両者を合計した前期第1四半期業績は売上高：615百万円、営業損失△82百万円。

業績推移(2013年3月期~2027年3月期)

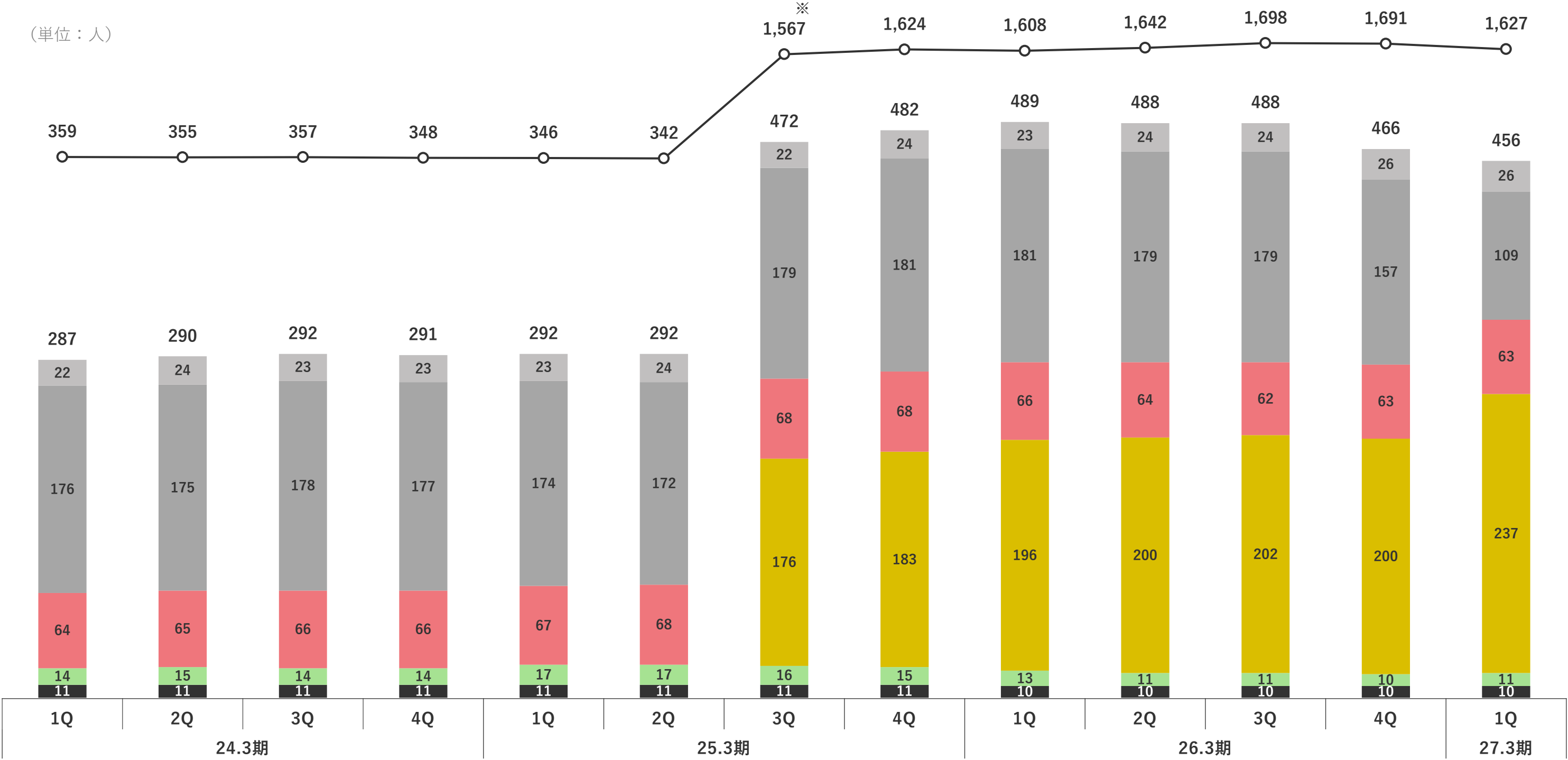


※ 2022年3月期からの新収益認識基準(企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」および企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」)適用に伴い、比較の容易性を高めるため、当資料内においてはアドテクノロジー事業の過年度業績について同基準を適用し、集計・記載

連結役職員数の推移

■ 役員(単体取締役および監査役、社外役員含む) ■ 投資事業 ■ (株)ベストコ ■ ユナイテッドマーケティングテクノロジーズ(株) ■ 育成中事業 ■ 本社部門 ○ 臨時社員を含む合計

(単位：人)



※ (株)ベストコの連結により、教育事業の正社員、臨時社員が増加

意志の力を最大化し、 社会の善進を加速する。

自らをより前に進める人。
社会をより前に進める事業。

社会は、意志ある人、意志ある事業によって
より善い方向へと進化していく。

強い意志こそが、
社会を善い方向へと変えていく
エネルギーそのもの。

UNITEDは、
そのエネルギーを、意志の力を、最大化させる。

意志ある人に、知恵と機会を。
意志ある事業に、資金とノウハウを。
そして、両者が出会い、
互いの成長が、さらなる成長を生む。
成長の連鎖で、社会を満たしていく。

意志の力で社会を善い方向へ、
より速く進めていく。

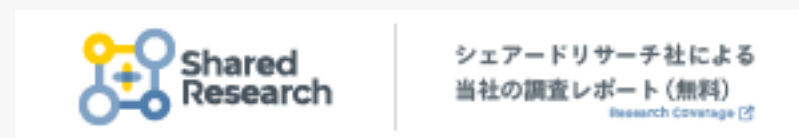
意志の力を最大化し、
社会の善進を加速する。

IRの取り組み

IRでは、当社へのご理解を促進していただくために、以下取り組みを行っております。
今後も取り組みを強化してまいります。

第三者レポート

シェアードリサーチ社による
第三者視点の企業分析レポートを公開しています



<https://sharedresearch.jp/ja/companies/2497>

noteでの発信

決算説明資料だけでは伝えきれない情報をお伝えする場として
経営者ブログやIR情報を発信しています

note



https://note.com/united_ir

決算説明会の書き起こし

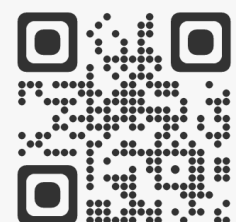
投資家の皆様へ素早く、且つ丁寧に情報共有できるよう、
決算説明会の書き起こしを公開しています



<https://finance.logmi.jp/companies/1754>

個人投資家様向けセミナーの実施

個人投資家のみなさまに
当社へのご理解を深めていただける場を用意しています
次回：9月1日（火）



<https://shonan-invest.com/>

